

処分した一般廃棄物の月ごとの種類及び数量													
種類		処理量 (t)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃ごみ	1号炉	1,330.57	886.98	465.66	1,673.36	1,483.78	499.74	675.47	1,705.06				8,720.62
	2号炉	1,480.36	1,385.46	1,709.36	1,631.63	1,239.91	1,751.96	1,755.78	854.76				11,809.22

燃焼室中の燃焼ガスの温度														
測定を行った位置		燃焼室出口										管理値		
測定の結果の得られた年月日		令和7年 4月30日	令和7年 5月31日	令和7年 6月30日	令和7年 7月31日	令和7年 8月31日	令和7年 9月30日	令和7年 10月31日	令和7年 11月30日	令和7年 12月31日	令和8年 1月31日	令和8年 2月28日	令和8年 3月31日	
測定の結果 【月平均値】	1号炉	924	922	919	921	921	903	912	904					800 以上
	2号炉	932	919	931	923	920	922	915	907					

燃焼ガスの温度														
測定を行った位置		バグフィルタ入口											管理値	
測定の結果の得られた年月日		令和7年 4月30日	令和7年 5月31日	令和7年 6月30日	令和7年 7月31日	令和7年 8月31日	令和7年 9月30日	令和7年 10月31日	令和7年 11月30日	令和7年 12月31日	令和8年 1月31日	令和8年 2月28日	令和8年 3月31日	
測定の結果 【月平均値】	1号炉	180	178	183	186	186	184	183	179					おおむね 200 以下
	2号炉	185	184	191	191	191	188	188	192					

煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度(1時間平均値)													
測定を行った位置		煙突入口										管理値	
測定の結果の得られた年月日		令和7年 4月30日	令和7年 5月31日	令和7年 6月30日	令和7年 7月31日	令和7年 8月31日	令和7年 9月30日	令和7年 10月31日	令和7年 11月30日	令和7年 12月31日	令和8年 1月31日	令和8年 2月28日	令和8年 3月31日
測定の結果 【ppm 月平均値】	1号炉	2	3	2	2	2	3	4	3				
	2号炉	3	4	2	2	3	1	2	1				30以下

冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った年月日	ばいじんの除去を行った年月日	當時機械除去
-----------------------------------	----------------	--------

排ガス測定結果

排ガスに関する規制値			
	大気汚染防止法	埼玉県基準値	協定基準値
硫黄酸化物排出量／濃度		60.92 m <sup>3</sup> N/h*	25ppm
ばいじん濃度	0.15 g/m <sup>3</sup> N	0.15 g/m <sup>3</sup> N	0.01 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素濃度	700 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	30ppm (=48.9 mg/m <sup>3</sup> N)
窒素酸化物濃度	250ppm	180ppm	50ppm
水銀濃度		0.03mg/m <sup>3</sup> N	0.03mg/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類濃度		1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※注で示された管内径 ( $17.5$  mm) と被覆された排水口の高さ ( $10$ ) の二乗  $\times 10^{-3}$  に換算系数  $k_1 = 1.04$  を乗じて各々の管の断面積を計算し、 $k_2 = 1.04$  で除して算出